

# 兵庫地域公害防止計画（概要）

## 計画の概要

### 1 計画策定の趣旨

当地域の環境は、公害防止に関する諸施策の推進により、全般に長期的には改善の傾向が見られるが、二酸化窒素の環境基準を達成していない測定局がある等、依然として改善すべき課題が残されており、引き続き、総合的な公害防止対策を講じていく必要がある。

このため、本計画は、環境への負荷をできる限り低減し、公害の早急な解決を図るとともに、公害の未然防止の徹底に努めることにより、地域住民の健康を保護し、生活環境を保全する計画として策定するものである。

### 2 計画策定地域

「現に公害が著しく、かつ、総合的な施策を講じなければ公害の防止を図ることが著しく困難な地域」について、計画を策定することとされており、今回、計画を策定する地域は、神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、加古川市、宝塚市及び川西市（7市）の区域とする。

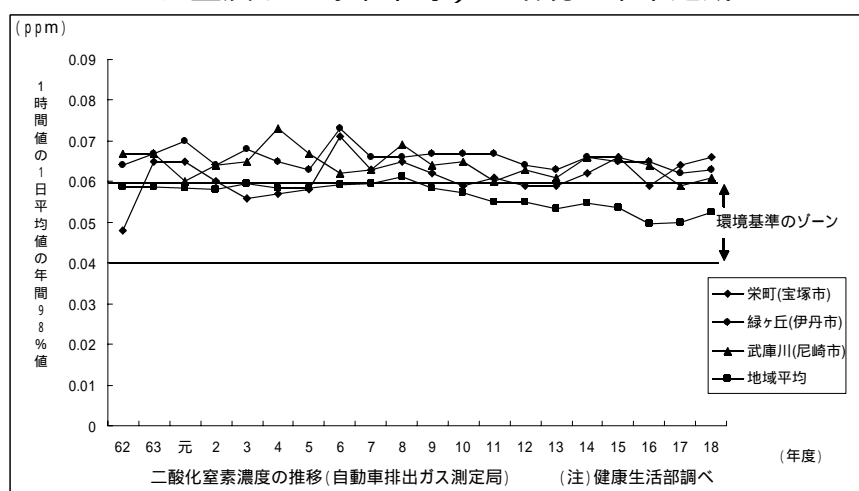
### 3 環境質の状況

長期的には改善傾向であるが、さらに改善を要する状況にある。

平成18年度に環境基準を超過した主な項目と地点は、次のとおりである。

#### (1) 大気汚染について

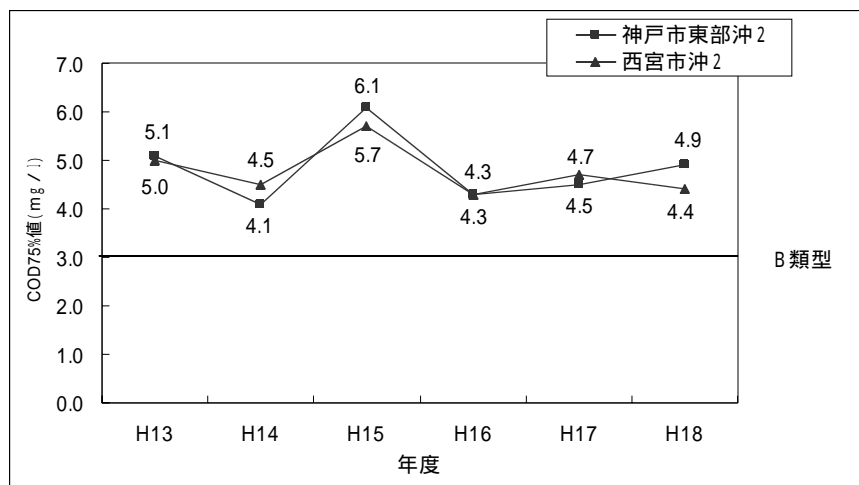
- ・二酸化窒素 自動車排出ガス測定局22局中3局（尼崎市武庫川、伊丹市緑ヶ丘及び宝塚市栄町）で環境基準未達成



- ・浮遊粒子状物質 自動車排出ガス測定局17局中1局（神戸市垂水）で環境基準未達成

## (2) 水質汚濁について

- ・海域COD 大阪湾6水域中3水域で環境基準未達成



大阪湾（B類型）のCODの推移

- ・河川BOD 15水域中1水域（猪名川下流）で環境基準未達成  
COD: 化学的酸素要求量、BOD: 生物化学的酸素要求量

## (3) 騒音について

- ・自動車騒音 121地点中58地点（全7市）で環境基準未達成
- ・新幹線鉄道騒音 32地点中16地点（神戸市、尼崎市、伊丹市及び加古川市）で環境基準未達成

## 4 計画の目標

環境基準の達成を目標とし、平成22年度末を目途に達成されるように努める。

## 5 計画の主要課題

### (1) 交通公害

国道43号をはじめとする大気汚染及び騒音の著しい道路沿道や山陽新幹線鉄道沿線における交通公害の防止を図る。

### (2) 大阪湾の水質汚濁

大阪湾のCODに係る水質汚濁、窒素及びりんによる富栄養化の防止を図る。

## 6 計画の期間

平成19年度から平成22年度までの4年間とする。

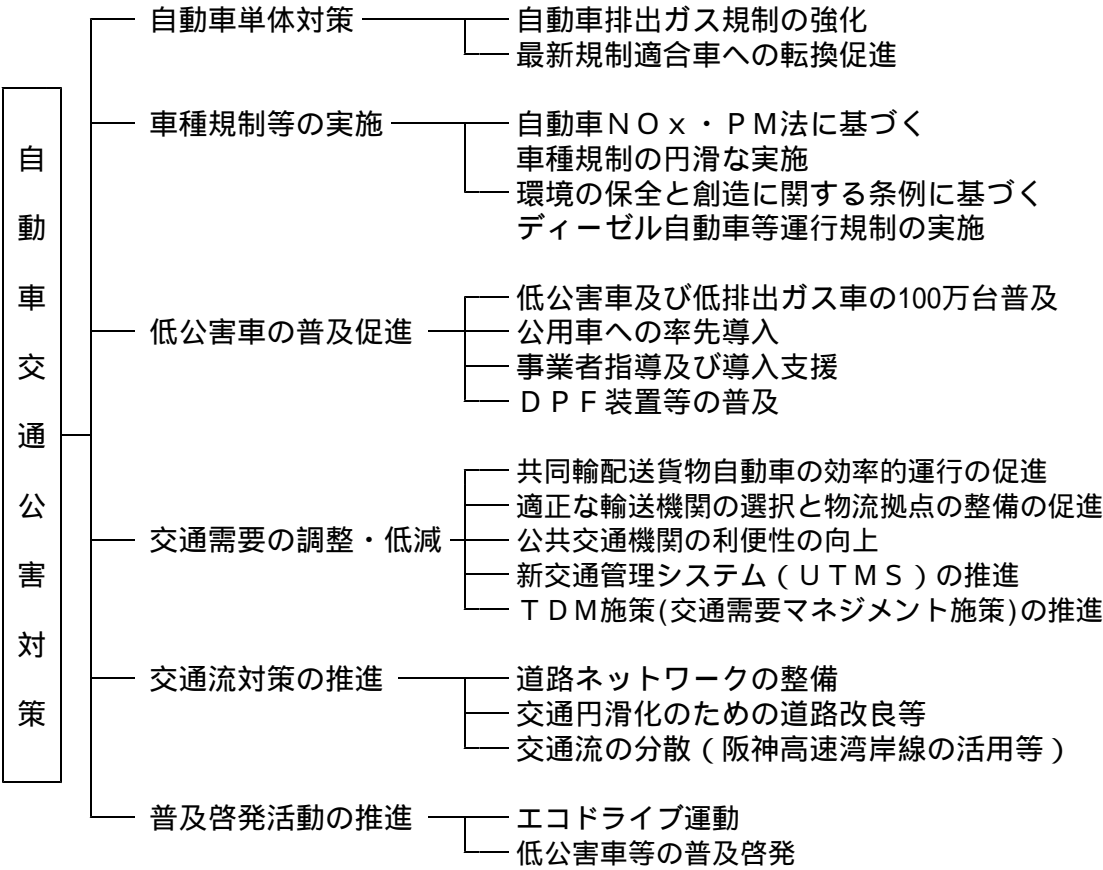
# 公害防止施策

目標達成のため、主要課題への対策を実施するとともに、その他の大気汚染対策、水質汚濁対策、化学物質対策等各種の公害防止施策を実施する。

## 1 交通公害への対応

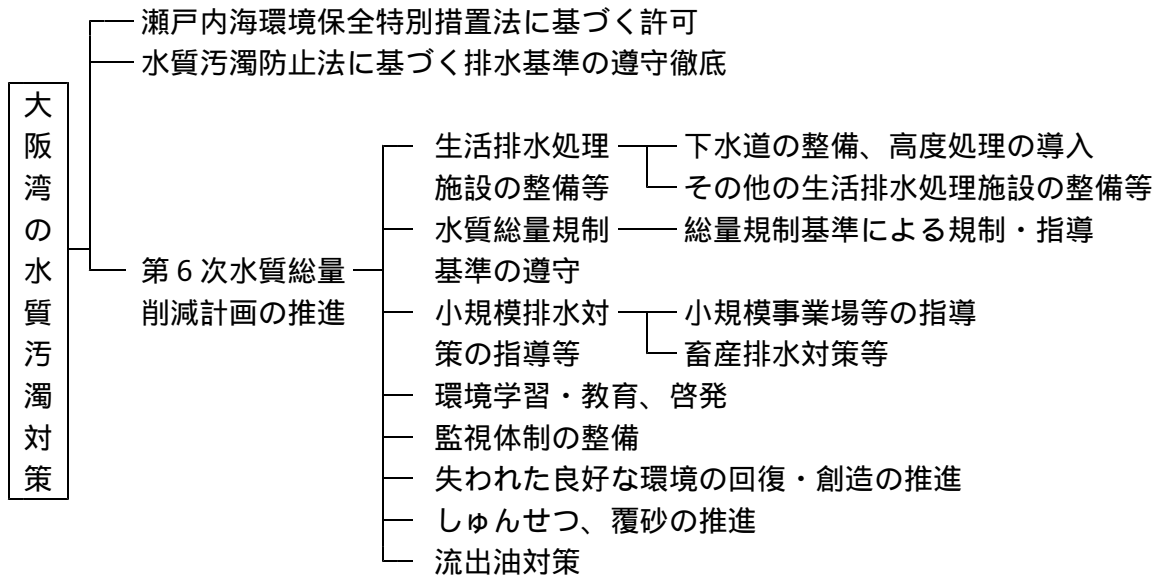
国道43号をはじめとする大気汚染及び騒音の著しい道路沿道における交通公害の防止を図るため、低公害車の普及促進や阪神東南部地域における「環境の保全と創造に関する条例」に基づくディーゼル自動車等運行規制の実施など自動車交通公害対策を実施する。

また、山陽新幹線鉄道沿線では、車両改良や防音壁の設置等騒音対策を実施する。



## 2 大阪湾の水質汚濁への対応

大阪湾のCODに係る水質汚濁、窒素及びりんによる富栄養化の防止を図るため、第6次水質総量削減計画に基づき、下水道等生活排水処理施設の整備や事業者への指導等水質汚濁対策を実施する。また、藻場・干潟等の浅場の整備などを目指す瀬戸内再生の取組を進める。



### 計画の効果的実施

#### 1 計画の推進体制と各主体の連携

計画の推進に当たっては、県の関係部局や関連する市等からなる推進体制により、計画推進主体間の連携を図るとともに、相互協力体制の強化に努め、計画の効果的な実施を図る。

#### 2 経費の概要

本計画に基づく平成19年度から平成22年度までの4年間に要する費用は、事業者が事業活動による公害を防止するために要する経費が約642億円、地方公共団体等が主体となって講じる措置に要する経費は、公害対策事業約805億円、公害関連事業約691億円と見込まれる。

#### 3 計画の進捗状況の点検

施策の進捗状況及び環境の状況等を把握するため、毎年度の状況調査を実施して問題点・課題を抽出し、施策の効果的な実施に向けて改善を図る。

また、計画終了時において最終報告を行い、適切な進行管理とともに明確な分析評価を実施する。